

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



東門のツバキ

☆☆☆ 今年もどうぞよろしくお祈りします ☆☆☆

後期の後半がスタートしました。冬休み中は大きな事故もなく、子供たちの明るい笑顔が学校に戻りました。当たり前前の学校生活を当たり前前に送ることができることに、何よりの幸せを感じます。

さて、9日(火)の集会では、12月に行った「学校生活アンケート」について、みんなで考えました。結果の良かった項目は、「安全な生活」「友達となかよし」「家読や家族との会話」でした。逆に低い項目は、「学習の楽しさと意見伝達」「家庭学習4か条」「ゲーム、夜ふかし」でした。子供たちの良さやがんばりをさらに伸ばし、改善すべきことを少しでも意識して直していくことが大切です。全校生で、「生き生き学び笑顔あふれる学校」を目指していこうと話しました。その笑顔や学びが地域にも広がっていくことを願っています。



6年生はあと2か月足らずでこの学舎を巣立っていきます。在校生もそれぞれの学年の学校生活を修了することとなります。子供たち一人一人にとって充実した毎日となるよう、職員一同、更に協働して取り組んで参りたいと思います。皆様方におかれましても、昨年同様、変わらぬ御支援、御協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

テレビ、ゲーム、パソコンの使用時間 長すぎ？

12/11(月)学校保健・給食・いじめ対策委員会を開きました。これは、毎年開かれる会議で、学校医や栄養士などの専門家、PTA正副会長や体育部正副部長・生活安全部正副部長・各学年部長の保護者代表、そして教職員から構成されている委員会です。今年度は、19名の参加者でした。残念ながら、保護者代表は1名でした。

学校保健の現状報告で気になったのが、[生活習慣アンケート結果]と[むし歯状況]です。

- ・「テレビ、ゲーム、パソコンの使用時間」…1日90分以上 35人(42%)
- ・「夜10時以降に寝る」…19人(23%)
- ・「寝転んでテレビを見る、本を読む」…52人(63%)
- ・「むし歯がある」…43人(51%)→12月現在の治療受診率は約40%

吉田東小の子供たちは、明るく素直、毎日元気に学校生活を送っています。しかし、家庭での生活の乱れは、学校での生活や学習に影響が出ます。全国、とちぎっ子学習状況調査によると、「ゲームやパソコンを長時間使用するほど、平均正答率は低い」という結果が出ています。アメリカの睡眠財団の報告によると、学童期(6~12歳)に必要な睡眠時間は、10~11時間だそうです。睡眠により成長ホルモンが出て、心身の発達につながる



そうです。また、視力の低下も心配です。さらに、むし歯や耳鼻科治療受診率が低いのも、毎年本校の課題です。体・心づくりは、御家庭の御協力が欠かせません。生活のリズムを整えるためにも、御家庭でルールを守るようお願いいたします。子供のうちから「早寝早起きしっかり朝ごはん」の習慣を身に付けると、大人になってからも健康で生き生きと活躍できるようになることと思います。

◎「友達と仲よく」 ～学校評価アンケートの結果より～

年末のお忙しい中、教育活動の改善のための学校評価アンケートの御回答、誠にありがとうございました。集計がまとまりましたのでお知らせいたします。今後、保護者、児童、教職員のアンケートの結果を踏まえて、よりいっそう良い学校を目指してまいりますので、御協力よろしくお願いいたします。

表の見方は、質問内容に対して、保護者からの回答を、「㉞そうである ㉟まあまあそうである ㊱あまりそうでない ㊲そうでない」ごと百分率(%)で表しました。また、保護者・教職員・児童の回答を、㉞は4点、㉟は3点、㊱は2点、㊲は1点とし、その平均点を数値化して、保護者の平均点の高い順に並び替えました。なお平均点は、A(3.5以上) B(3.0~3.4) C(2.9以下)の3区分することによって、全体の傾向が見えてくるのではないかと考えています。



質 問 内 容		㉞	㉟	㊱	㊲	保	教	児
児 童	①子供は友達と仲良く過ごしているか。	65	33	1	0	3.6	3.6	3.7
	②子供は相手の立場に立って、思いやりのある行動がとれるか。	26	65	9	0	3.2	3.2	3.2
	③子供は進んで元気な挨拶ができるか。	32	46	21	1	3.1	2.5	3.5
	④子供は好き嫌いせず食べ、運動しているか。	32	44	21	2	3.1	3.5	3.4
	⑤子供は時刻を守って生活しているか。	32	49	16	2	3.1	3.1	3.4
	⑥子供は自分と異なる意見や立場を尊重することができるか。	20	62	19	0	3.0	3.2	3.4
	⑦子供は学習することが楽しいか。	22	48	28	1	2.9	3.0	3.1
	⑧子供は自分の意見をしっかりと伝えることができるか。	21	52	25	2	2.9	2.7	3.1
	⑨子供はよく本を読んでいるか。	26	37	32	5	2.8	3.2	3.3
学 校	⑩学校は子供の様子などを学年だよりなどで分かりやすく伝えているか。	63	36	1	0	3.6	3.5	
	⑪学校は保護者や地域の協力・参加を得て、教育活動を行っているか。	58	41	1	0	3.6	3.5	
	⑫学校は安全指導などを適切に行い、子供の事故防止などに努めているか。	58	41	1	0	3.6	3.6	
	⑬学校は家庭と連携して、適切な家庭学習ができるようにしているか。	43	54	1	1	3.4	3.2	
家 庭	⑭家族とよく話をしているか。	70	26	4	0	3.7	2.9	3.6
	⑮我が家では「家読」を実践しているか。	43	37	20	0	3.2	2.9	3.6
	⑯忘れ物をしないように持ち物や提出物、宿題の確かめを子供がしているか。	42	37	19	2	3.2	2.9	3.5
	⑰家族のため何か手伝いをしているか。	33	42	25	0	3.1	3.0	3.3
	⑱テレビ、まんが、ゲームなどの決まりを守り、夜ふかししていないか。	28	44	25	2	3.0	2.6	3.2
	⑲我が家では家庭学習4か条を実践しているか。	14	52	32	2	2.8	2.4	3.2

《考 察》

- (ア) 全体的にはプラス(A、B)の評価をしている項目が多数を占めている。
- (イ) ①友達と仲よく⑭家族とよく話など、人と関わることに對して高得点なのは、昨年同様、児童の行動や生活が落ち着いていることにつながっていると思われる。
- (ウ) 保護者と教職員の平均点は、⑭を除いてほぼ同じであるので、課題等を含めて同じようにとらえていると考えられる。また、児童の平均点はほとんどの項目で保護者と教職員を上回っている。
- (エ) ⑨読書については、学校では朝の読書や家読など力を入れているが、家庭での声掛けや協力をお願いしたい。さらに、家読や家読発表会の工夫改善も必要である。
- (オ) ⑧自分の意見を伝える⑲家庭学習4か条など、学習に関するものの平均点が低いのは、昨年同様、今年も課題である。今後とも家庭学習習慣を定着させるために、継続的な指導工夫や家庭の協力が大切である。
- (カ) ⑱テレビ、ゲーム等の決まり、夜ふかしについては、教職員の平均点が低い。ネットトラブルによる危険が増えているので、今後も学校、家庭、児童との情報共有や指導を継続していきたい。





12/5
(火) 5年生が「下野新聞講座」を受けました。新聞ができるまでの仕事の内容を聞き、実際に聞づくりの体験もしました。見出しの付け方や記事の書き方などを学び、これから各教科で新聞をつくる時に生かせそうです。また、新聞づくりの工夫を知ることで、今まで以上に興味をもって新聞を読めることを期待します。



12/6(水)
完読賞10冊の表彰を行いました。今年は、毎週2冊の本を図書室で借りています。必読図書を読んで感想を書いた49名の児童が、完読賞をもらいました。子供たちは毎週2冊の本を借りています。「読書は心の養」になります。



12/19
(火) 避難訓練を行いました。今回は不審者侵入時に安全に避難することが目標でした。84名全員が真剣に速やかに避難できました。スクールサポーターの三浦さんから、「いかのおすし」や「タッチ&ゴー」の重要性について話を聞きました。「毎日が訓練である。」「普段から大きな声で挨拶する。それが大声で助けを呼ぶのに役立つ。」など、自分の命を守るために努力することを学びました。

12/20(水)~22(金)、養護教諭の鶴田と保健委員会児童が全児童に「歯磨きチェック」を行いました。「カラーテスター」を使って歯垢の染め出しをした後、鏡を見ながらきれいに歯磨きをしました。さらに、各クラスごとに保健指導も受けました。発達段階に応じた歯と口の状態、役割を知り、歯と口の大切さや歯磨きの習慣化の意味を学びました。



12/11(月) 学校保健・給食・いじめ対策委員会 ～講話「いじめに関わらない力を育てる」～

スクールカウンセラー 人見 薫先生より

「いじめに関わらない力」とは、

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 自分の気持ちを表現できる力 |
| 2 | 自己決定力 |
| 3 | 人の話を聴く力 |



この3つを育てることが大切である。

「自分の気持ちを表現」するためには、自分の気持ちを整理して説明できるようにしていく。それには語い力が必要。日頃から、本の読み聞かせ(言葉のシャワー)、会話の中で練習(何をどうしたいのか、どういう意味か説明させる)などを繰り返すと良い。「自己決定力」とは、「やらない」「やめて」が言える力。日頃から、自分で何かを決める場をつくり待つ、失敗から学べるように(あえて失敗させる)見守る。「人の話を聴く力」を伸ばすには、相手に注意を向ける(視線や姿勢)、相手への関わりをうなずきや質問などで示す、作業記憶を鍛えるようにする。作業記憶を鍛えるためには、読書や料理が効果的。

学校では毎日指導している「当たり前」のことです。「当たり前」のことを当たり前にするのが難しい。ぜひ、御家庭でも3つの力を一緒に育てていきましょう。

平成30年度より 「学校運営協議会」設置

下野市において、来年度より「学校運営協議会」を各学校で設置いたします。「学校運営協議会」とは、教育委員会が地域住民・保護者の代表などを委員（非常勤の地方公務員特別職）として任命する合議体の組織です。合議体とは、2人以上が集まって協議し、その意思を決定する組織です。校長が作成した学校運営の基本方針を承認したり、学校の課題や目標を共有した上で、学校運営に参加したりします。

全小中学校が学校運営協議会を導入することで、すべての学校が「地域に信頼され、地域とともにある学校」を目指します。そして、子供たちが笑顔にあふれ、地域を知り、地域にふれ・学び、地域を語れるように、学校と保護者、地域が一体となった教育を推進していきます。



<6年生 算数の復習> <5年生 自主学習の進め方> <4年生 理科実験のまとめ>

『特別支援教育』とは? No8

～だれにでもやさしい特別支援～

学校教育課 白石孝子先生の講話（11/29）より

特別支援教育は、さまざまな学習場所で行われるものです。

通常学級においては、教室環境作り・板書・ノートの使い方・指示の出し方・発問や指名の仕方・子ども同士の関係作り・個に応じた指導や支援などがあります。

特別支援学級においては、児童一人一人に合った学習内容や学習方法・時間割の工夫などがあります。

また、通級指導教室においては、週に数時間（1～3時間程度）の個別の学習の場として、児童一人一人に合った学習内容や学習方法が行われます。近隣では、薬師寺小学校に「発達障害に対応した教室」、緑小学校に「ことばの教室」があります。

子どもに何らかのつまずきがあるのではないかと気づいた場合は、早いうちに学校や専門機関に相談し、適切な支援を受けることが望まれます。

「私にあった教え方で教えてもらえれば、私にもできるよ。」

「やりたい」「のびたい」と思う子どもたちの気持ちを大切にすること。それが、みんなにやさしい「特別支援」です。

☆☆ 受賞おめでとうございます ☆☆

- | | | | |
|---------------------|-----|----|---------|
| ◎JA書道コンクール | 佳作 | 3年 | 佐藤初華さん |
| ◎国際交流図画コンクール | 優秀賞 | 2年 | 大森昊太さん |
| ◎こはん・お米とわたし 作文コンクール | 銅賞 | 5年 | 泉田絢音さん |
| | 佳作 | 6年 | 海老原耶々さん |
| ◎全国小学生クロスカントリーリレー大会 | 優勝 | 6年 | 海老原智陽さん |
| 〃 友好トライアル(女子1,5km) | 優勝 | 6年 | 海老原耶々さん |

お知らせ:

「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各学年の活動も随時配信しております。御意見、御感想などありましたら御連絡ください。QRコードからもアクセスできます。



